



青き楓

島高日より
令和6年1月号
(通巻第214号)

長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

職員室から

『Chance Challenge Change』

校長 岩橋 順弘

帰省の人たちと家族団らんで年の初めを迎えていた能登半島の人々を、大きな揺れが襲った。テレビ各局は地震速報や津波の襲来を伝える。アナウンサーの切迫した声が避難を呼びかける。画面では、倒壊する家屋の様子や火事の様子が写しだされている。テレビを見ながら、新年から大変な事態が起こっていることがなかなか呑み込めなかった。今回の地震では、現時点で200名を超える人が命を落とし、いまだ100人を超える人が安否不明、1万人を超える人たちが避難所生活を強いられている。強い揺れによる地盤の隆起や土砂崩れにより道路が寸断され、孤立した集落も発生している。水道や電気などのライフラインの復旧もなかなか進まない厳しい現実もある。その中で現地の人々は協力しながら、力強く毎日を過ごしている。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、1日も早い復興を願っている。地震や災害は人々の暮らしや時間に関係なく、ふいに襲ってくる。どのような状況にあっても、いち早い対応を求められる。生きるために、自分が今何をすべきなのかを判断して行動しなければいけない。私たちも危機管理の面から、常に最悪の事態を想定した訓練をしておく必要があることを改めて考えさせられた。

令和5年5月にコロナウイルス感染症が5類へと移行になり、入学式や体育祭、修学旅行などが以前のようにできるようになった。街中やイベントでは多くの人が集まり、国内はもちろん、海外への旅行も可能になってきた。観光客の増加により、旅館や商業施設も息を吹き返すきっかけとなっている。本校でも4年前に計画して以来、ようやくシンガポール・マレーシアへの海外修学旅行を実施することができた。初めて海外に行く人にとっては、心配なことも多かったのではないかなと思う。引率する先生方にとっても心配な面が多くあったが、海外での班別の自由時間では臆することなく行動している子どもたちを見て安心した。現地の店で買い物をしている姿や四苦八苦しながらも何とかして集合場所に行かなければと集合時間ぎりぎりに駆け込んでくるグループもあった。またマレーシア工科大学では、現地の大学生とゲームなどを通して、楽しくコミュニケーションをしていた。海外でいろいろな経験を積むことができたことは、非常に大切なことだと思う。文化や習慣、生活様式など日本との違いを認識できたこと、写真や映像で見たり、聞いたりするのではなく実際に肌で感じ体験できたことは、子どもたちにとってかけがえのない財産になったと考えている。そして、この経験が海外旅行に出かけるきっかけになってくれればと思う。留学など、学生時代に海外を訪れるチャンスは数多くある。たくさんの経験を積んで、国際感覚を身につけ、自分の感性や価値観を磨いてほしい。もちろん海外旅行だけでなく、研修やボランティアなど、学校以外で様々なことを経験できるチャンスはいくらでもある。それはすべての人に平等で、どうするかは個人の判断に委ねられている。これからは、面倒だとか、恥ずかしいとか思う気持ちを振り払って、もっと積極的にいろいろな場所に飛び込み、そして経験を積んで欲しい。そのことで、これまでの価値観を見直し、より広い視野を持つことができ、人は成長していく。勉強だけでなく、知的好奇心を持っていろいろなことにチャレンジして欲しい。

令和6年が、皆さんにとって素晴らしい1年となるよう期待している。

大学入学共通テスト



3 学年

76回生が1月13日・14日に行われた「大学入学共通テスト」を受験してきました。試験前日に行われた「出陣式」では、金子 PTA 会長様や岩橋校長先生の熱い激励に背中を押していただきました。また学校出発の際には、1、2年生の盛大な見送りに勇気をもらいました。3年生は進路実現に向けて、毎日必死に努力を続けてきました。

大学入学共通テストが行われた13・14日ともに穏やかな天候で、大きなトラブルもなく、全員無事に受験しました。15日に自己採点、進路指導部を中心とした出願校検討会、個人面談等を経て、国公立大学等への出願という流れになります。

共通テストは終わりましたが、これから約1か月間、今度は個別学力試験に向けて学習に取り組む日々が続きます。全員が進路目標を達成するために頑張ります。最後まで応援よろしくお願いいたします。



2 学年より

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。さて、2024年は77回生がいよいよ3年生になる年です。2年生3学期は3年生0学期とよく言われます。そこで始業式後の学年集会では、共通テスト1年前の受験勉強への姿勢として、よく知られている1.01の法則を紹介しました。普段の1.00に加えて0.01の小さな努力を追加し365日継続すると1.01の365乗で37.8倍に成長します。逆に毎日0.01なまけると0.99の365乗で0.03の力に下がってしまいます。77回生には1日でも早く受験生としての意識を持ち、今日からでも0.01の小さな努力を継続し来年の受験に対する力を付けてほしいと願います。ご家庭でも、受験を意識した生活や学習へのご指導よろしくお願いいたします。



1 学年より

新年あけましておめでとうございます。昨年中は本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。さて1、2学期は高校生活に慣れることで精いっぱいだったかもしれません。しかし学習、部活動、学校行事など慌ただしい日々の中でも、自分なりに努力を重ね、少しずつ成長し、逞しくなっていく生徒の姿を間近で見ることができ、嬉しく思っています。1年生3学期は、よく『2年生0学期』と呼ばれます。4月からは中堅学年として、先輩の背中を追いかけるだけでなく、『後輩の憧れ』となり、学校の中核を担う存在となります。そのために①爽やかな挨拶、②時間の厳守、③掃除の徹底など当たり前のことを当たり前にできるよう指導を継続していきます。また、生徒達がたくさんの経験の中で多くの失敗を重ねながら、そこから得た気づきを基に自分自身の可能性を大きく広げられるよう、学年団全体で明るく元気に前向きにサポートしていきます。今年も昨年同様、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。